

平成19年産米の需要量に関する情報（旧生産目標数量） について

平成18年12月14日

1 熊本県への米の需要量の情報

熊本県における平成19年産米の需要量は、昨年から3,880トン減の206,460トンとなった。

（参考）米の需要量（H17～H18：生産目標数量）の推移

	H17	H18	H19
（対前年）	（99.3%）	（99.9%）	（98.2%）
熊本県	210,530 t	210,340 t	206,460 t
（対前年）	（99.3%）	（97.9%）	（99.4%）
全国	851 万 t	833 万 t	828 万 t

2 市町村別需要量の算定方法

市町村別需要量については、営農の安定性・継続性及び需要実績を配慮する観点から全体の98%を「平成16年産から平成18年産までの市町村別生産目標数量の平均値」による配分とし、残りの2%については、需要に応じた米づくりを推進するため各市町村の「集荷円滑化対策加入数量」、「担い手経営安定対策加入数量」、「稲作所得基盤確保対策加入数量」、「稲種子米契約数量」を勘案し配分した。

※詳細別紙

3 市町村別の需要量

（別紙のとおり）

4 次年度以降の需要量算定について

なお、次年度以降の市町村別需要量の算定に当たっては、品目横断的経営安定対策の加入状況など担い手育成状況等を考慮して算定する。

平成19年産米の市町村別需要量の算定方法等

1 配分方法

① H16～18年産の各市町村別生産目標数量の平均割（98%）

・市町村別平均生産目標数量＝H16～H18市町村別生産目標数量の合計／3

② H18年産の集荷円滑化対策加入数量割（1%）

・市町村別対策加入数量割＝H18市町村別対策加入数量／H18県全体対策加入数量

③ H18年産の担い手経営安定対策加入数量割（0.1%）

・市町村別対策加入数量割＝H18市町村別対策加入数量／H18県全体対策加入数量

④ H18年産の稲作所得基盤確保対策加入数量とH18年産稲種子契約数量の合算割（0.9%）

・市町村別対策加入及び種子契約数量の合算割＝H18市町村別合算数量／H18県全体合算数量

⑤ 横島干拓分（別枠）

2 使用した数値等

○H16～18市町村別生産目標数量（県）

平成16～18年産の米の市町村別生産目標数量

○集荷円滑化対策加入数量（国）

平成18年産集荷円滑化対策加入者の生産確定数量（H18年11月6日集計時点）

○担い手経営安定対策加入数量（経済連）

平成18年産担い手経営安定対策加入者の生産確定数量

○稲作所得基盤確保対策加入数量（経済連）

平成18年産稲作所得基盤確保対策加入者の生産確定数量

○稲種子米契約数量（主要農作物改良協会）

平成18年産稲種子契約数量

※（ ）内は出典元